

# 大災害発生時の帰宅困難者の 受入れを考えよう

## 【一時滞在施設\_初動編】

# 進行スケジュール

時間（例：1時間）	内容
5分	読み合わせについての確認・準備
40分	読み合わせの実施
10分	全体での意見交換
5分	事後アンケート

# はじめに

- 近郊で大地震が発生した場合、人々の暮らしや健康に様々なことが生じます。
- このスライドでは、時間経過とともに起こりうることを予想し提示しています。（このとおりになるとは限りません）
- スライドに示すような状況となったとき、どのように対応するかを、施設で準備されていることを考慮しながら、検討してください。

# 目標の確認

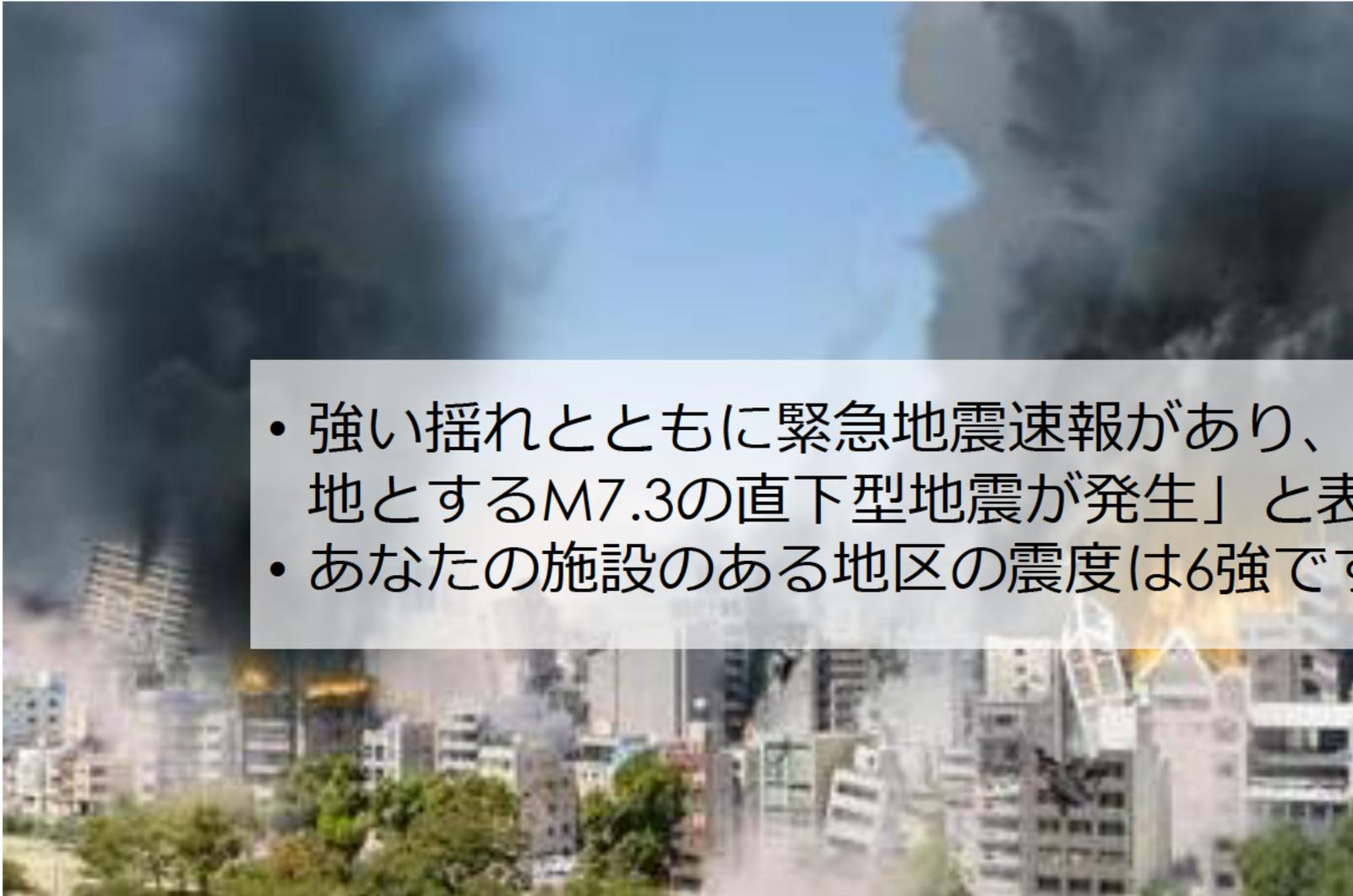
## 一時滞在施設の運営の最終目標

- 施設の目標を記載してください

## 詠み合わせの目標（以下は例を示しています。）

- アクションカードや様式等を用いて災害時の対応手順を確認できる。
- 実際に起こり得る課題や問題について、対応策や改善策を具体的に考案・対応できる。

# 平日午後2時（発災からの時間：0：00）



- 強い揺れとともに緊急地震速報があり、「東京都南部を震源地とするM7.3の直下型地震が発生」と表示されました。
- あなたの施設のある地区の震度は6強です。まだ揺れています。

## 平日午後2時半（発災からの時間：0：30）

- ようやく揺れがおさまりました。
- あなたの施設は見た目は倒壊はしていません。近隣では、一部の家屋が倒壊し、火災が発生しているようです。
- ガス・水道・電気は供給が停止しています。固定電話は不通、携帯電話は通話は不能ですが、SNSでのメッセージの送受信はできるようです。
- 建物内には、従業員、顧客がいました。従業員の何名かが軽傷ですがけがをしているようです。

ここでみなさんは、それぞれどのように行動しますか。

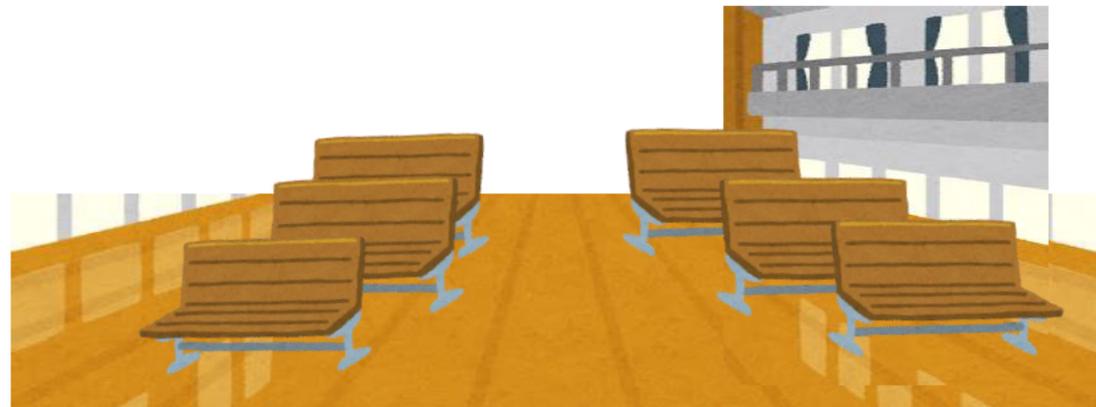
# 午後3時（発災からの時間：1：00）

- 近隣の道路はひび割れ、公共交通機関はすべてストップしています。
- 街にいる帰宅のできない人が、居場所を求めて、あなたの施設に押し寄せそうな気配です。



集まれた担当者と施設運営者で、それぞれ何をしますか。

# アクションカードに沿って動いてみましょう



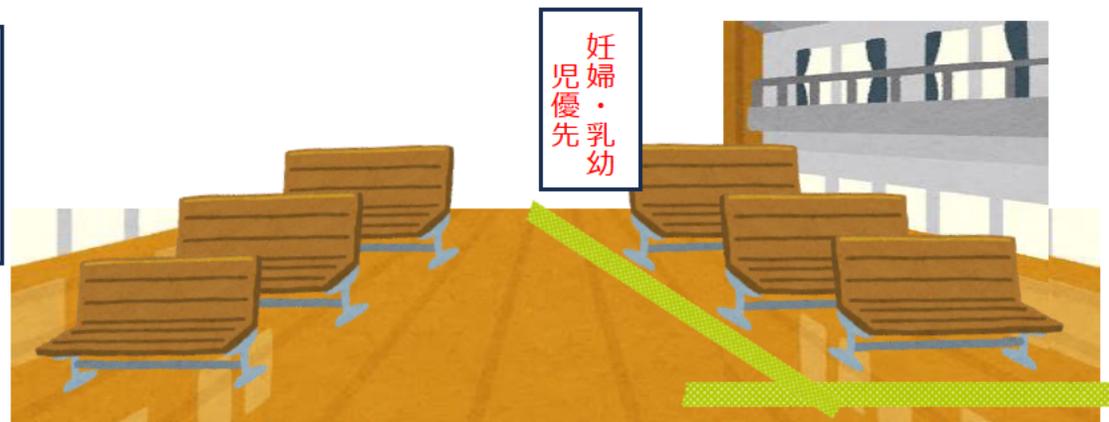
開所までにやるべきことは何でしょう？



# アクションカードに沿って動いてみましょう

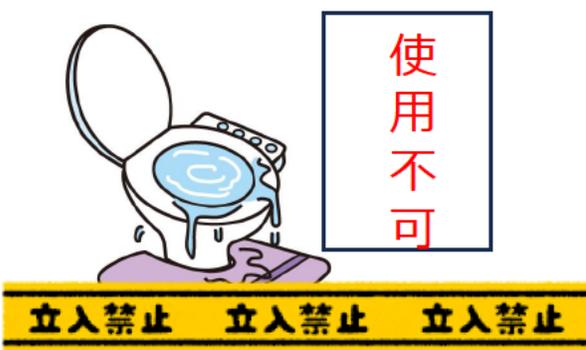


これより先  
立入禁止



妊婦・乳幼児  
優先

開所までにできるとよいこと（優先順位を考えて実施）



使用不可



トイレ  
←



**受付**  
当施設を利用する方は、必ず受付してください。以下の記載をお願いしています。

- 
- 
-

## 午後4時（発災からの時間：2時間）

- ○○区からあなたの施設に、メールで一時滞在施設の開設依頼の連絡がありました。

帰宅困難者の一時  
滞在施設の開所を  
お願いできますか。



誰が、どのように回答し、行動しますか。

# 午後4時（発災からの時間：2：00）

大勢の人が、一時避難施設の開設を待って列ができています。



開所したら、まず、どのように対応しますか。

# 午後5時（発災からの時間：3：00）

- あなたの施設の外に、近所に住む**A家族**（両親と子ども1人）がきて、「自宅にいると揺れて不安なので、しばらく、ここに居させてもらえますか？」と言っています。
- 施設運営者が、「家族と連絡がとれないから家に帰る」といって、出ていこうとしています。
- **青年**が訪ねてきて、「ここに、トウキョウ タロウは避難していますか？」と聞かれました。



このような場合、どのように対応しますか。

# 全体での意見交換

実動訓練を通して以下について意見交換をしましょう。

- スムーズに対応ができたこと、良かったこと
- 改善、検討が必要なこと
- アクションカード、チェックリストの修正点
- その他気付いた点等

# 全体での意見交換

実動訓練を通して以下について意見交換をしましょう。

- スムーズに対応ができたこと、良かったこと
- 改善、検討が必要なこと
- アクションカード、チェックリストの修正点
- その他気付いた点等